



協会報

2018

発行日 毎月1日 通算発行 384号

4



今月のトピックス

平成30年大雪奮闘記

荒木建設(株) 加藤幸男

最近の完成工事から

光ヶ丘県営住宅建替事業 ~ 67・68号棟完成 ~

石川県土木部建築住宅課



石川の工芸シリーズ

小松市立博物館蔵

砂張銅鑼(銘:青海波) <初代魚住為楽【明治19(1886)年-昭和39(1964)年】>

制作年 / 昭和12(1937)年 サイズ / 直径54.5cm x 厚さ10.5cm 技法 / 鑄造
小松市生まれの初代魚住為楽は銅鑼作りの名人として知られ、重要無形文化財「銅鑼」保持者(人間国宝)に認定されている。本作は美術愛好家であり茶人としても有名な益田鈍翁の依頼により制作されたもの。茶会で用いる銅鑼は面径が大きいほど低い音に、小さいほど高い音になり、用途によって使い分ける。1尺8寸もの銅鑼を制作するのは至難の業で、彼の生存中2点しか存在せず、本作はそのうちの1点である。小松市指定文化財。

“未来”を創り “ふる里”を守る 建設産業

発行所 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL(076)242-116(代) FAX(076)241-9258

URL-<http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS

2018

4



石川の工芸シリーズ
砂張銅鐺(銘:青海波)
初代魚住為樂(うおずみらく)

1	今月のトピックス	1
	平成30年大雪奮闘記 荒木建設(株) 加藤幸男	1
2	最近の完成工事から	2
	光ヶ丘県営住宅建替事業 ~67・68号棟完成~	
	石川県土木部建築住宅課	2
3	平成29年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.3	4
	株式会社戸田組	4
4	雇用改善コーナー	6
	工業系高校生等の富士教育訓練センター派遣事業について	6
5	地区協会コーナー	8
	「世界一長いベンチ」から「世界一美しいベンチ」を目指して!「西能登里浜イルミネーション~ときめき桜貝廊~」 (一社)羽咋都市建設業協会	8
6	会員リレーコーナー	9
	172 毎田建設株式会社	9
7	今月の「輝き!」さん No.37	10
	小中出建設株式会社 手塚貴大さん	10
8	協会だより	11
	委員会の開催	11
	土木委員会	
	役員会の開催	11
	舗装部会の開催	11
	建築委員会	
	災害防災訓練の実施	11
	技術部会の開催	12
	土地改良委員会	
	委員会の開催	12
	広報・研修委員会	
	企画部会の開催	13
	平成29年度「けんせつセーフティ・ドライブコンテスト」結果	13
	建設青年委員会	
	北陸建設青年委員会役員会並びに北陸地方整備局企画部との意見交換会の開催	16
	土木部監理課との意見交換会の開催	16
	環境・情報対策特別委員会	
	建設廃棄物の適正処理に係る講習会の開催	16
	雇用対策特別委員会	
	委員会の開催	16
	暴力団等対策特別委員会	
	委員会の開催	17
9	石川県土木施工管理技士会だより	17
	北陸三県土木施工管理技士会と北陸地方整備局との意見交換会の開催	17
	JCMセミナー(DVD講習会)の開催	17
10	業界時報	18
	平成30年4月 人事異動(関係分抜粋)	18
	労働災害発生状況	22
	平成29年度 建設工事受注高調(元請)	22
11	会員消息	23
12	県協会からのお知らせ	23
13	地区協会からのお知らせ	23

◆ 今月のトピックス ◆

平成30年大雪奮闘記

荒木建設(株) 加藤幸男

平成29年度(平成30年冬)は、金沢地方気象台で最大積雪深87センチと平成12年度以降17年ぶりに、金沢の指定警戒積雪深の80センチをこえました。しかも気温の低い状態が続き、久しぶりにトンネルのつらら落としもやりました。ちなみに、昭和60年度(61豪雪)を境に前後32年間で、金沢で最大積雪深の80センチを超えたのは、昭和60年度以降2回、以前は11回(県央土木資料)となっていて、近年はいかに雪が降らなくなったかを物語っています。

さて我社は、石川県関係では国道304号、国道359号の幹線道路をはじめ外3路線の県道の除雪を担当していて最大で6台の除雪車で除雪しています。

担当除雪路線のパトロールも行っていて、夕方から翌朝までに3回のパトロールを行ったこともありました。今冬は、午後8時のパトロールに行った時には、数センチしかなかったのに午後11時に行くと30センチと言うことが何回もありました。近年の雨の降り方も一緒ですが、短期間に局地的に多く降るパターンでした。

こういう降り方をするものですから、県内の幹線道路が、大渋滞・通行止ということになりました。我社の除雪担当路線に関わってくる北陸自動車道森本インターから小矢部インターが通行止になった時の我社の対応について述べてみたいと思います。

猛吹雪のある夜中、北陸自動車道が通行止になりそうだから早急に除雪してほしいと県央土木から連絡を受け、まず迂回路として重要な国道359号に3台の除雪車を投入して除雪を行っていたらパトロール中の私の携帯電話に県央土木から北陸自動車道は通行止になったが国道359号の富山県側が通行止になったので国道304号を迂回路として使いたいがどうかと連絡が入り、国道304号にパトロール車が入って見たら1回除雪したあとにすでに30センチくらい積もり、もうすでに竹又町から県境にかけて、30~40台くらい的大型車(猛吹雪で遠くは見えない)が停まっていて次々と大型車が入ってくるので、県央土木に連絡して不動寺町から通行止にしてもらって、我社の除雪車を車を引き上げる班と、除雪する班に分けて対応にあたりました。

まず片側車線を除雪車が通行できるようにし県境側を除雪する段取りで車を引き上げていくのですが、猛吹雪の影響かもしれないが車を脱出させようと試みてる人があまりいない。そうこうしていると渋滞している後方から反対車線を相当のスピードで突っ込んでくる大型車が出てくる。こちらは、赤色のチョッキ・誘導棒を持っているが恐ろしくて路肩の雪の中に飛び込むこんな状態のなかで、社員と引き上げをしてもらう車の運転手のみが猛吹雪の中奮闘して電話から5時間で通行止を解除出来ました。

最後に今冬の大雪で思ったことは雪道走行の運転技術の向上を望みます。(経験を重ねないと難しいかな?) それと特に山間部の雪道走行の際の携行品のチェックを(せめて長靴・スコップくらいは)お願いしたいと思います。



最近の完成工事から

光ヶ丘県営住宅建替事業 ～67・68号棟完成～

石川県土木部建築住宅課

1 はじめに

県営住宅は戦後、住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃の住宅を供給するために建設されました。その多くは高度成長期に建設され、現在、建替え時期を迎えています。

平成30年4月現在、県では55団地306棟5,330戸の県営住宅を管理しており、県民の居住の安定を図るための住宅セーフティネットの役割を果たしています。

建替事業は、老朽化が著しい、浴室がない、3～5階建住宅であるにもかかわらずエレベーターがないなど、居住水準の低い住宅を対象に実施しています。

2 事業概要

光ヶ丘住宅団地は、金沢市中心部より南西へ約8kmに位置し、県営・市営の公営住宅と、その周辺に分譲の低層住宅が立地する住宅地です。(図-1)

県営の光ヶ丘67～72号棟は、1967～1968年(昭和42～43年)に建設された地上4階建ての鉄筋コンクリート造であり、老朽化が著しく、浴室も設置されていない状況でした。

こうした状況を改善するため、6棟76戸の住宅を2棟49戸に建替えることとし、平成29年2月に67号棟(25戸)、平成30年3月に68号棟(24戸)を完成しました。(図-2)

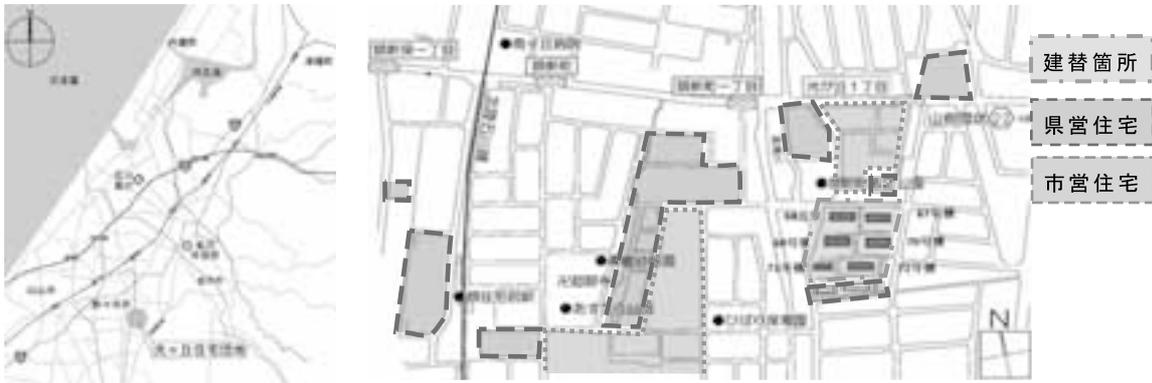


図-1 団地位置図

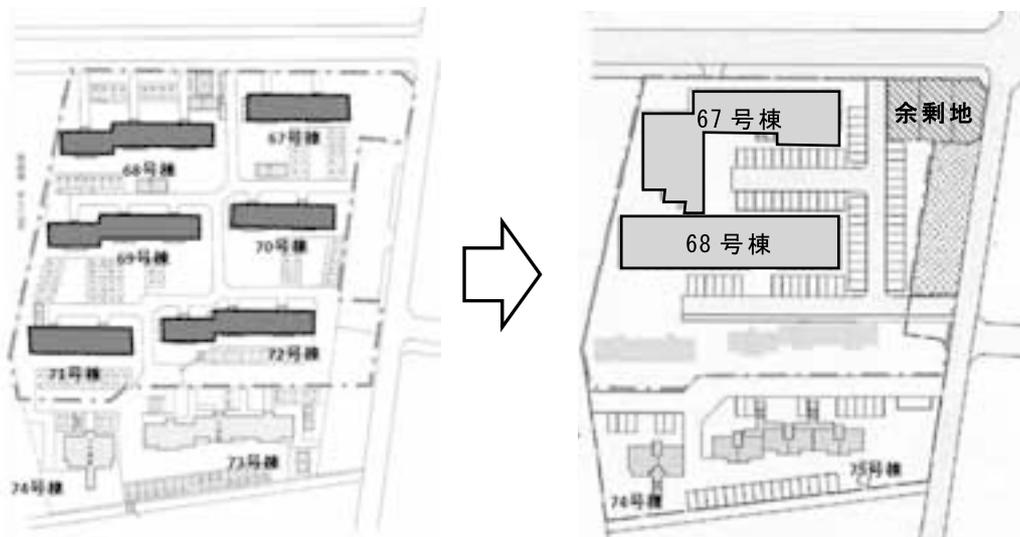


図-2 建物配置図(左:建替前、右:建替後)

3 施設概要

所在地：金沢市光が丘1丁目地内

敷地面積：9,583.85㎡（73・74号棟部分及び余剰地含む）

延床面積：3,490.51㎡（67号棟1,990.34㎡、68号棟1,500.17㎡）

構造：鉄筋コンクリート造4階建て

整備戸数：49戸（67号棟25戸、68号棟24戸）

余剰地：392.41㎡

4 整備方針・特徴

整備にあたっては、省エネルギー化や周辺環境・景観へ配慮し、高齢者の方々も快適に利用できるよう、手すりやエレベーターなどを設置したほか、ファミリー世帯向けの広めの間取りの住戸を用意するなど、多様なニーズに対応しています。

また、建物の効率的な配置により生じた余剰地を分譲宅地用地として売却処分をすることで、財政負担の軽減を図ることとしています。

高齢化社会への対応

- ・手すりの設置、段差解消等によるバリアフリー化
- ・エレベーターの設置

省エネルギー建築の推進

- ・外断熱工法及びペアガラスの採用

周辺環境・景観への配慮

- ・勾配瓦屋根の採用、緑地帯の設置

住棟の長寿命化への配慮

- ・コンクリートの品質、かぶり厚さの確保
- ・外断熱工法による躯体の保護、劣化防止

土地の有効利用・財政負担の軽減

- ・建替えにより発生する余剰地の売却処分



写真 - 1 車いす対応住戸
（上：LDK / 下：洗面・トイレ）



写真 - 2 住戸内（LDK・和室）



写真 - 3 外観（手前：68号棟・奥：67号棟）

5 おわりに

平成30年3月に建替工事が完了し、4月から入居を開始しました。今後は、内灘町の鶴ヶ丘団地県営住宅の建替事業に移り、順次建替えを進めることとしております。

最後になりますが、本事業の推進に多大なる尽力をいただいた関係各位にこの場をお借りして感謝申し上げます。

平成29年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.3

施工企業名：株式会社戸田組

工事名 平成27年度 県営ほ場整備事業（面的集積型）白浜・深見地区 区画整理工事その4（ゼロ国）

施工場所 七尾市深見町地内

工事概要

区画整理工 A=2.7ha

工期 平成28年3月31日～平成28年12月20日

推薦理由

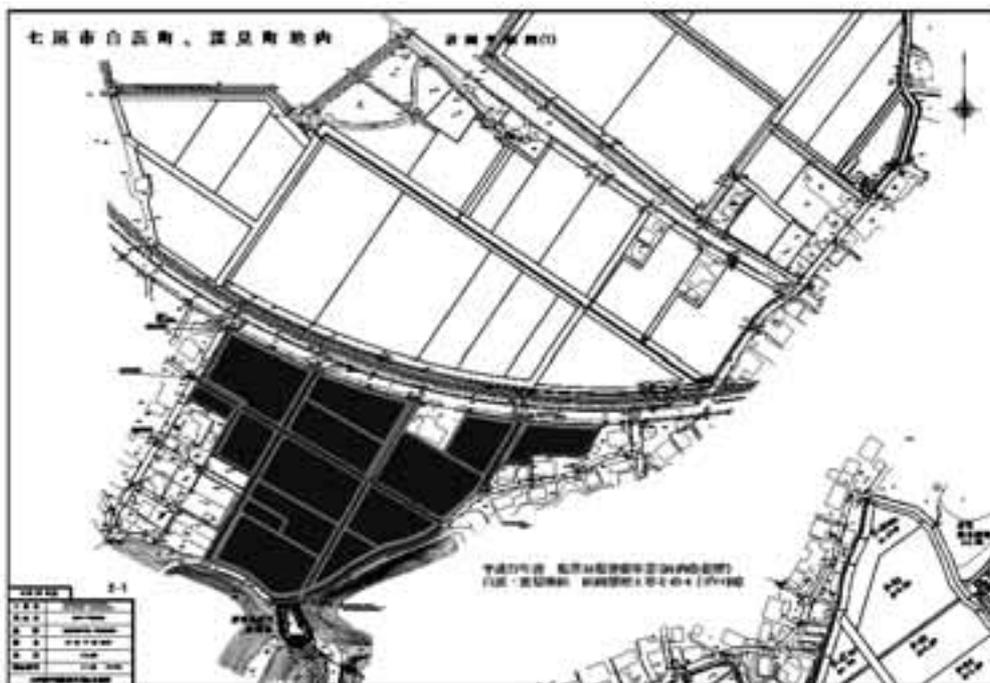
本工事は、住宅地や生活道路及び国道249号に近接していることから、事故防止への配慮に交通整理員の配置や住民への工事内容の周知、更に、安全施設の設置を積極的に行った。また、県基準より厳しい自社管理基準を設け、レーザーレベルの使用などにより、すべての項目で管理基準値を満足する優良な出来形を確保した。



完成写真



完成写真



計画平面図



基盤整地状況



法面整形状況



湧水処理状況



オートレベルを使用した基盤の高さ管理

現場代理人のコメント

現場代理人
真田 修成氏

この度、当工事が優良建設工事として石川県知事表彰を頂いたことは、私はもちろんのこと、社内全体で大変嬉しく、光栄に思っております。これもひとえに、発注者の皆様方、工事に御協力いただきました工事に関わる全ての皆様、地元住民の皆様方には心より感謝と御礼を申し上げます。

本工事は、大型重機を主に使用して行う区画整理であり、施工エリアは住宅地や生活道路及び国道249号に隣接しておりました。

工事を進める上で特に留意した事は、周辺住民の方の理解を得る為の丁寧な説明と事故防止対策でした。説明の方法としては、工事箇所周辺の住宅や事業所を一軒一軒訪問させて頂き、工事の案内書を配布すると共に、工事の案内と工事内容の説明を出来るだけ分かりやすい表現で説明させて頂きました。

また、施工時においては基盤整地を行う上で品質に影響を与える恐れのある湧水箇所が発見された為、監督員の立会確認及び協議を行い、早急な対応と指示のもと、湧水処理工を実施し、安定した基盤を構築する事が出来ました。完成時には、地元住民の皆様からも喜びのお言葉をいただき、大変嬉しく感謝しております。この工事を通して、区画整理工事に取り組む姿勢や考え方を担当監督員から学ばせて頂きました。本当に有難うございました。

今後もこの表彰を糧に、地域の皆様に信用・信頼のおける建設工事を目指し、頑張っていきたいと思っております。

雇用改善コーナー

工業系高校生等の富士教育訓練センター派遣事業について

雇用対策特別委員会（委員長 岡 昌弘）は、若手建設労働者の育成事業の一環として、建設業界に就職が内定している県内の高校生等を対象とした富士教育派遣センターへの派遣事業を実施した。

本年度事業は、東日本保証株式会社の御協力による「就職前準備研修」2日間を受講した後、従来の「小型移動式クレーン技能講習・玉掛け技能講習」または、「車両系運転技能講習」を受講する2つのグループに分かれ、資格取得を目指し、2月10日(土)より17日(土)までの7泊8日にかけて実施した。

受講者にとっては、慣れない環境で長期間の研修となりましたが、資格取得と同時に、社会人としての心構えも学習し、貴重な時間となりました。

以下は、厳寒の富士教育センターでの研修体験を綴った受講者のレポートの抜粋となります。



入職企業 橘建設(株)

金沢市立工業高校 網 美雨菜

今後の私の課題は、社会人としてのマナー等を学びながら、仕事に今回の研修で行ったことを活かしていきたいです。実習でやった、玉掛けやクレーンの知識をしっかりと持って行って、現場に出た時に、少しでも会社の役に立てるようにしておきたいです。現場に出てからは、安全第一で気を付けて作業をしていきたいです。

入職企業 誠和建設(株)

石川県立小松工業高校 北市史弥

自分の課題は、少しでも早く仕事に慣れることなので、自分は習慣づけるのがいいと思い、今回の研修中、規則正しく生活をすることができました。このまま自宅に帰っても続けていきます。富士山のようにどんなに高い目標でも、自分で考え、行動し、道を切り開いていきたいです。

入職企業 (株)明翫組

金沢市立工業高校 池下魁人

これから社会人一年目を迎えるにあたって、自分の中でも特に課題だと思っている「コミュニケーション」などの人間関係作りを鍛えていきたいです。人に好かれる為に必要なこと、また、スキルアップの為に解らないところは、上司や先輩に聞いたり、自分で知識をつけたりするなど、建築やそれ以外のこともたくさん勉強していきたいです。



入職企業 ダイド建設(株)

石川県立小松工業高校 岩住 薫

私は、4月から建設業として働いていくので、今とれる資格はとっておきたいと思います。まだ、とれる資格はたくさんあると思うので、一生勉強してとっていきたいです。また、コミュニケーションを上手にとって人間関係を深めていきたいです。この研修で身についた色々なことを、これからの生活や仕事で活かしていきたいと思います。建設業は最高の職種だと思います。

入職企業 (株)丸西組

石川県立小松工業高校 水口流稀

私の課題は、冷静な気持ちと作業の効率化の2つです。私はこれから、その仕事についての資料を読み返すことで予習をし、その日に学んだことをメモにとったり、ノートにまとめたりして、予習復習を必ず行います。仕事としてお客様に提供できるくらいの現場監督になります。

入職企業 北興建設(株)

金沢市立工業高校 井駒潤也

私は、社会人として恥ずかしくない大人になっていきたいです。その為には、もう学生の気持ちや考え方もってはいけなないので、社会人としての自覚をもって、行動していきたいと思います。この研修は、車両系建設機械の事だけでなく、社会人というものの大変さ、自覚を持たせてくれたものになりました。

入職企業 高田産業(株)

石川県立小松工業高校 伴 陽希

この研修を通じて、クレーン・玉掛けの技能講習だけではないですが、声を出して確認することが大事だと改めて思いました。周囲への危険防止にもなり、安全対策としての役割も果たすので、大切だと思いました。建設業は日々勉強していかないといけないので、勉強もしつつ、先輩方の仕事をしっかり見て吸収して、一人前の社会人になりたいです。

入職企業 (株)向出組

石川県立小松工業高校 高輪圭太

研修中、私達以外にセンターに研修に来ていた人達がいたのですが、その方たちは私達が高校生だとわかってもしっかりと挨拶してくれました。社会人の人達は挨拶が当たり前なんだなと気づきました。私も仕事に就いたら、挨拶や返事を返す際は相手の顔を見てしっかりやりたいと思いました。また、自分の仕事に「自信・誇り」を持つことを目標に頑張っていきたいと思っています。



地区協会コーナー

「世界一長いベンチ」から「世界一美しいベンチ」を目指して！ 「西能登里浜イルミネーション～ときめき桜貝廊～」

(一社)羽咋郡市建設業協会

志賀町増穂浦海岸にある「世界一長いベンチ」は、「日本海に沈む美しい夕日を眺めて欲しい」という地元住民の思いを受け、昭和62年に県産材のアテを使用し、延べ830人のボランティアの方々に作られました。

海岸に沿って作られたベンチの全長は460.9mもあり、一度に1,346人が座った記録が残っています。

「世界一長いベンチ」では、毎年5月に地元の小・中学生、観光協会、商工会員と一緒に、ベンチの塗り替えを実施しています。



世界一長いベンチ



ベンチ塗り替えの様子

これは観光に来て頂く人たちに気持ちよく訪れてもらいたい、そして地域の子供たちにもっと地域のことを知って欲しい、郷土愛に目覚めて欲しいという思いが込められています。

平成28年からは「西能登里浜イルミネーション～ときめき桜貝廊～」と称して、10月から2月の期間、ペットボトルを使ったイルミネーションイベントを開催しています。増穂浦

海岸に打ち寄せられる幸せを呼ぶ『さくら貝』のピンクと、里浜をイメージしたブルーが輝きます。

皆様も季節ごとにいろいろな風景を見ることができる増穂浦の「世界一長いベンチ」で、ゆっくり時間をすごしてみたいかがでしょうか。



西能登里浜イルミネーション～ときめき桜貝廊～

(資料提供：志賀町役場 商工観光課)

会員リレーコーナー

172 毎田建設株式会社
(所在地：金沢市舘町又6番地)



社章

我社、毎田建設株式会社の創業は昭和41年でございませう。今年で設立40周年を迎える事ができました。

初代社長（創業者）である私の父は18歳～28歳までの10年間、大工をしておりました。大工時代の10年間で木造住宅を20戸建てたと聞いております。とても手先が器用な父です。初代社長はバイタリティ豊富で毎田建設株式会社を創業後40年の間で、産業廃棄物処分場・総合解体業・浜砂の販売・戸室石の販売・老人ホーム・天然水の販売と多くの事業を手がけてきました。

私が二代目社長を受け継いだのは平成20年であ



社訓



社屋

り、早いものでもう10年の月日が経ちます。

昨今、建設業は大変厳しい状況に置かれており、建設業の需要は、ここ近年上昇したとはいえ、供給過剰の状態はまだまだ続いており、各企業間では熾烈な価格競争が繰り広げられております。「オーバーカンパニー」と言われている状態が続いている為、格安で案件を引き受けている業者も多数存在しています。そのしわ寄せは、現場で働く労働者に来るのです。職場環境や労働条件が悪くなれば、労働者は建設業から離れてしまいます。その結果、人材不足へと追い込まれている現状だと思います。

我社は、こうした年々変わる建設業界に臨機応変に対応し、長年の実績により培ってきた信頼こそが当社大切な財産と思ひ、その技術と真心を持って、様々な問題に目を向け、社会に貢献できる企業であり続けたいと思ひます。

「社会の為、地域の為に存在する」意義にこだわり、お客様のニーズにあった環境づくりを目指し誠実に仕事に取り組んでいきます。

今回は吉田道路(株) 代表取締役 吉田壽賀子さんにバトンをお渡ししますので、よろしく願いいたします。

(毎田建設株式会社 代表取締役 毎田 健)

今月の「輝き！」さん

No. 37



小中出建設株式会社

たかひろ
手塚貴大さん

業 種：土木技師
経験年数：5年
年 齢：23歳

加賀市大聖寺の小中出建設(株)の事務所に今月の輝きさん手塚貴大さんを訪ねました。

- 土木技師として入社し5年、今年に入り土木施工管理技士2級の資格を取得したと聞きましたが、この会社への入社のも動機について教えてください。
私は小松工業高校で建築を専攻し、卒業後は先生の推薦でこの会社に入社しました。小中出建設は従業員20名規模の土木、建築を請け負う総合建設会社で、私の卒業時は土木技師しか募集していなかったため、私は土木技師として採用され今日に至っています。高校で建築を専攻しながらどうして土木技師となったのかと申しますと、先生から「土木がだめなら社内で建築部に替えてもらえばよい。」と諭されたためですが、土木の2級技士の資格を得た今ではこのまま土木技師を続けるつもりでいます。

- どんな少年時代を過ごしましたか？
私は、加賀市に近い小松市矢田野というところで、3人兄弟の2番目として育ちました。小学校の頃から木工が好きで、机などを工作していた事を覚えています。勉強か運動かと言えば運動系で、中学より陸上部に入り円盤や砲丸投げの投擲を続け北信越の代表にもなったことがあります。高校で建築を専攻したのもモノづくりが好きだったことが影響していると思います。

- 畑違いの土木は大変だったでしょう。
入社から2年余りは、専門用語や仕事の段取りが分らず大変でした。そのため出入りの職人さんの仕事を積極的に手伝い、用語や仕事の把握に努めました。現場に出て何よりもこたえたのは寒さでした。仕事が終わらない上、寒さがこたえ精神的にも落ち込んだ状態が続き、職人さんから「大丈夫か？」と心配されたこともありました。しかしながら、徐々に仕事が身につく2年ほどが過ぎるとストレスも寒さも感じなくなり、5年を経た今は「あの時の悩みはなんやった？」という感じで今は仕事に励んでいます。

- 今どんな仕事をしていますか？土木に魅力を感じる時はどんな時ですか？
野田部長のもとで、農業用のパイプラインの建設に従事しています。仕事の内容も雑用的なものから徐々に現場監督の補助を務める管理的のものへと変化し意欲をもって取り組んでいます。
土木の魅力は、地図に残る仕事です。特に道路づくりはその典型で、原野が開発され道路が出来る様子は感激します。

- あなたの夢、そしてこれから建設業に入職しようとする後輩のために提言することがあったら教えてください。
土木部では私が一番若く直属の先輩とは10歳以上離れています。若いゆえ期待されることも多く、その期待に応えられる技術者になりたいと思っています。具体的には1級の資格を持つことや、これから普及するICT(情報化施工)の技術も習得したいと思っています。
後輩のための提言ですが、工期が定められ、現場の技術者が重い責任を持つこの業界ではしかたがないことなのですが、今少し休日が取れる職場であれば、入職時に生じるストレスも柔らかくと思います。

- 独身だと聞きましたが結婚を考えますか？また余暇はどのように過ごしていますか？
兄も弟も結婚しておりますが、結婚はまだ考えていません。余暇は多趣味で、本を良く読みます。趣味の大工で部屋の改造をしたり、ロードバイクやスキー、スケボーなどしたりして過ごしています。

向上心と責任感の強い青年技術者でした。「つらさを乗り越えられたのは愚痴を聞いてくれた両親のおかげ。」とも聞きました。「今少し休みが必要。」という言葉は、働き方改革を唱える建設業界にとって正鵠を得た言葉と受け止めました。

HELL OF FIVE
FIREMAN

けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

協会だより

委員会の開催

土木委員会

役員会の開催

土木委員会（委員長 竹腰勇ノ介）は、去る3月26日（月）に石川県建設総合センター会議室において、第4回役員会を開催した。今回の役員会は平成29年度の活動内容と次年度の活動計画について審議を行うものである。会議では冒頭竹腰委員長の挨拶の後、下記の各議題について審議と情報提供を行い、散会した。

審議内容

平成29年度活動報告について

平成30年度活動計画について

- ・第1回全体会議の開催日程について
- ・現場見学会及び研修会の視察先、開催時期について
- ・地区協会との意見交換会について
- ・活動計画（案）について

最近の話題（情報提供等）について

- ・平成30年度の石川県土木部発注工事の新たな取り組みや、建設業界に掲載されている最新の話題について情報提供を行った。



舗装部会の開催

土木委員会舗装部会（部会長 浦 良一）は、3月26日（月）金沢市内において、舗装部会を開催した。浦部会長の挨拶のあと、上・下半期のこれまで取り組んできた主な活動内容の総括と今後の活動計画について意見交換等を行い散会した。審議内容及び意見交換は以下のとおりである。

1. 舗装部会の今年度の活動内容と今後の活動計画について

活動内容及び活動計画について意見交換を行い、次年度は県舗装業協会と連携して要望活動を行うことを確認した。

部会については、上半期（4月～9月）、下半期（10月～3月）で各1回行うことを確認した。

2. 平成30年度の石川県土木部発注工事の新たな取り組みについて

「一般競争入札における施工体制確認型総合評価方式」や「工事施工の円滑化4点セット」、「いしかわ土日おやすみモデル工事」、「快適トイレの取り組み」の制度改正内容について確認した。

3. 北陸地域における工事の「発注見通しの統合」について

「発注見通しの統合」（試行版）のホームページの更新内容を確認した。

4. 最近の話題（情報提供）について

総合評価案件の技術提案のポイントや登録基幹技能者の主任技術者要件認定、工事書類の負担軽減に関する発注者の動向などについて情報交換を行った。



建築委員会

災害防災訓練の実施

建築委員会（委員長 橋本和雄）は、3月19日（月）に会員と協力者の合計72名の参加で県との災害協定に基づき平成24年度から数えて第6回目の「災害防災訓練」を開催しました。

訓練に先立ち、3月14日（水）に合同班長会議を開催し災害協定に基づき災害防災訓練を県の協力を受け

て開催することを確認し、また、今年度も昨年度に引き続き、実際に被害が発生した場合を想定し、早急に被災状況を共有するために携帯電話、スマートフォンを活用して被災状況写真を送付することを主眼とする情報伝達訓練を実施すること並びに昨年度に引き続き県で想定した被災建築物を担当協力が施設管理者から被害状況を聞き取りの上、被災建築物の調査・応急復旧・記録作成を行う応急復旧訓練を行うことを確認した。

当日、午前9時過ぎに県よりメールで「災害防災訓練」の指示が協会へあり、直ちに、県協会より各地区代表者である班長にメールで一斉に訓練開始の連絡がされました。

早いものでは午前9時30分頃に各会員及び協力者から次々と写真を添付して報告があった、今回はメールが殺到して事務局のパソコンがダウンしてしまうトラブルも生じず午後4時30分頃までに報告が出そろい、取りまとめの上、県に報告することが出来ました。

当日は寒の戻り寒さの中にもかかわらず、概ね良好な写真を早期に送付いただき県内総計で78カ所の県有施設の被災状況を確認と1カ所での応急復旧訓練を無事に終えることができました。

大規模地震を想定した、情報伝達と情報の共有化訓練並びに応急復旧訓練を実施することができました。会員並びに協力者には、お寒い中訓練に参加いただきましてありがとうございました。

技術部会の開催

技術部会（部会長 本田正敏）は、3月30日（金）、石川県建設総合センターで部員8名の参加で開催した。

本田部会長の挨拶の後、事務局より平成29年度中に完成した県発注建築大型工事（概ね1億円以上の建築工事）の「県発注工事現場 実態調査結果」と「公共建築工事 工事費実態調査」のそれぞれ9件の工事の調査結果が報告された。

また、県の総合評価方式に施工体制確認制度が取り入れられ、最低制限価格による失格の廃止並びに低入札調査制度の導入及び電子くじの全面実施が4月1日以降に公告される工事から適用されることも報告された。

この調査結果を来年度当初の県担当部局との意見交換会で報告し改善を要望にすることも確認し、閉会となった。



土地改良委員会

委員会の開催

土地改良委員会（委員長 小柳正彦）は、3月20日（火）にANAホリデイ・イン金沢スカイにて「土地改良委員会 全体会議」を開催した。

土地改良委員会（91会員）の全委員が一同に会する「全体会議」は、当日会員62名、県農林水産部より西川農林水産部次長ほか2名、県土木部より竹俣土木部次長ほか2名の出席の下、冒頭、小柳委員長の挨拶の後、西川農林水産部次長の挨拶で始まり、会議の内容は次の通りです。

1 事業報告について

土地改良委員会の平成29年度の事業報告の後、平成30年度事業計画については、秋頃に予定している現場研修会など詳細な日程等が決まり次第、案内すると事務局より報告された。

2 県からの情報提供について

1)「農業農村整備事業関係予算について」は、農業基盤課松村担当課長より、国の平成29年度補正予算と平成30年度当初予算についての説明と、県の主な事業の予算状況について説明された。

2)「制度改正等について」は、農業政策課技術管理室角村担当課長より、金抜き設計書ファイルをPDFファイルに変更するなどを説明された。

3)「一般競争入札における施工体制確認型総合評価方式の拡大について」は、土木部竹俣次長より、4月1日より総合評価方式の一般競争入札では最低制限価格をもうけないで、調査基準価格未満の入札の場合は、施工体制に関する調査を実施し、施工体制評価点を加算した評価を行うこととしたなどを説明された。

3 特別講演について

『国営土地改良事業調査「河北潟周辺地区」の調査状況について』と題して、北陸農政局西北陸土地



改良調査管理事務所小林次長より、平成31年度より国営農地防災事業により工事着手予定の河北漏排水機能の向上に向けた事業についての調査状況について話された。

講演では、平成27年度より本年度までの地区調査で、河北漏防潮水門や干拓地内外の排水機場などの排水機能を強化する必要性の調査結果がまとめられ、平成30年度は施設の実施設計を行い、平成31年度の事業採択を目指しているとのことであった。

広報・研修委員会

企画部会の開催

広報・研修委員会企画部会(部長 高田直人)は、3月19日(月)午前10時30分から石川県建設総合センター401会議室において開催された。

冒頭高田部会長が挨拶を行い、引き続き下記の通り議題の審議及び報告が行われた。



- 1 協会報4月号について
事務局提出の編集計画が了承された。
- 2 協会報新企画記事について
会員企業のスキルアップを図る事を目的に、石川県が県民を対象に実施している「県政出前講座」の中からテーマを取り上げ「おすすめ出前講座」として紹介記事を連載する企画が提案された。
- 3 平成29年度「けんせつセーフティドライブコンテスト」結果について
本年2月末をもって終了した標記コンテストの実施結果について説明がなされ、会議終了後無事故無違反を達成した372チームの中から30チームに食事券を交付するための抽選会が行われた。
- 4 研修所からのお知らせについて
 - ・平成29年度新入社員研修の開催について説明がなされた。
 - ・平成28年度研修事業実績について報告が行われた。
- 5 その他
研修旅行の実施について説明がなされた。

平成29年度「けんせつセーフティ・ドライブコンテスト」結果

1、平成29年度の結果について

今年で18回目となる恒例の「けんせつセーフティ・ドライブコンテスト」は、本年度も昨年6月からはじまり本年2月までの9ヶ月を持って終了しました。ここ数年参加者の増加傾向が続き、本年度は参加チームが昨年度よりも20組上回り、深い関心を持って取り組んでいただいておりますことに感謝申し上げます。

なお、本年度の結果ですが、チーム達成率が65.5ポイントで前年比6.9ポイント上回り、また個人達成率は91.1ポイントで前年と同等のポイントを記録するなど好成績を残す結果となりました。

交通違反の傾向としては携帯電話違反、制限速度超過違反、シートベルト非着用、一時不停止の順位で多く中でも携帯電話違反は昨年度よりも50件上回りこの種のルールの徹底が求められます。本年度の参加状況・達成状況・交通違反状況については次の通りです。

○参加状況・達成状況

区分 【会員数】	参加状況			達成状況			
	チーム 参加数	参加率	参加人員	チーム 達成数	チーム 達成率	個人 達成数	個人 達成率
金 沢 【88】	103 (2)	117.0% (2.2)	510 (11)	65	63.1% (6.7)	458	89.8% (1.4)
加 賀 【34】	24 (2)	70.6% (5.9)	119 (10)	17	70.8% (16.3)	110	92.4% (2.5)
小 松 【65】	65 (3)	100% (6.1)	324 (14)	38	58.5% (11.7)	290	89.5% (6.0)
白 山 【84】	82 (2)	97.6% (1.2)	407 (9)	61	74.4% (4.2)	381	93.6% (0.8)
河 北 【26】	27 (0)	103.8% (0)	133 (2)	14	51.9% (3.7)	113	85.0% (3.9)

○参加状況・達成状況

区分 【会員数】	参加状況			達成状況			
	チーム 参加数	参加率	参加人員	チーム 達成数	チーム 達成率	個人 達成数	個人 達成率
羽 昨 【35】	86 (5)	245.7% (20.7)	430 (25)	58	67.4% (10.6)	397	92.3% (2.2)
七 尾 【40】	87 (4)	217.5% (4.7)	429 (19)	52	59.8% (6.8)	385	89.7% (1.7)
鳳 輪 【53】	37 (0)	69.8% (3.7)	185 (0)	30	81.1% (2.7)	175	94.6% (0.5)
珠 洲 【31】	54 (6)	174.2% (19.4)	269 (29)	36	66.7% (6.3)	249	92.6% (1.4)
県協会	3 (0)	-	15 (0)	1	33.3% (0)	12	80.0% (6.7)
合 計 【456】	568 (20)	124.6% (5.7)	2821 (97)	372	65.5% (6.9)	2570	91.1% (1.7)

参加率の分母は地区協会の会員数です。
 () は前年度対比数で整数は増加 印は減少を表します。

交通事故・交通違反の状況
 未達成者251名の交通事故・交通違反状況

未達成原因	件数 (前年度対比)	内 訳 (前年度対比)
交通事故	8件 (+3)	死亡事故0件 (±0) 重傷事故0件 (±0) 軽傷事故5件 (±0) 物損事故3件 (+3)
交通違反	396件 (+77)	速度違反 99件 (+33) 【内30キロ以上の速度違反8件 (+2)】 信号無視 16件 (+4) 一時停止 35件 (-8) シートベルト 93件 (-5) 携帯電話 125件 (+50)

2、平成29年度優良地区協会

本年度の参加率及び達成率優良地区協会は次のとおりとなりました。
 参加率優良地区協会・・・(一社)羽咋郡市建設業協会
 達成率優良地区協会・・・(一社)鳳輪建設業協会



抽選会風景

3、達成率の年別推移

年度	達成チーム / 参加チーム	チーム 達成率	達成人員 / 参加人員	個人 達成率	備 考
24	284 / 508	55.9%	2249 / 2531	88.9%	実施期間 平成29年6月1日から 平成30年2月28日間 での9か月間
25	303 / 509	59.5%	2259 / 2529	89.3%	
26	295 / 523	56.4%	2298 / 2592	88.7%	
27	340 / 541	62.8%	2443 / 2692	90.8%	
28	321 / 548	58.6%	2436 / 2724	89.4%	
29	372 / 568	65.5%	2570 / 2821	91.1%	

4、平成29年度 食事券達成30チームの抽選結果について

本年度無事故無違反を達成した372チームの中から選ばれる食事券30チームは本年3月19日(月)開催の広報・研修委員会の席で参加関係者による抽選の結果次の通り選ばれました。

組番	組番号 区分		各協会 割当て番号	食 事 券 獲 得 チ ー ム		
				番号	会社名	チーム名
1	1～13	13	金沢協会 1～65	3	共栄建設(株)	共栄建設株式会社
2	14～25	12		22	島屋建設(株)	島屋・N
3	26～38	13		32	北川ヒューテック(株)	TATUYA
4	39～50	12		46	(株)高田組	ボンスキー
5	51～62	12		55	(株)岡組	ドナルド
6	63～75	13	加賀協会 66～82	74	(株)シモアラ	安全運転
7	76～87	12		85	(株)ウエストサークル	ウエストサークルA
8	88～99	12	小松協会 83～120	97	(株)竹中建設	チームおうま
9	100～112	13		100	(株)寺田鉄工建設	無事かえるくん
10	113～124	12	白山協会 121～181	115	道場建設(株)	道場Cチーム
11	125～136	12		133	(株)ココ地建	チームCOCO-A
12	137～149	13		149	辰野建設工業(株)	Jと愉快的仲間達
13	150～161	12		150	辰野建設工業(株)	Sと愉快的仲間達
14	162～174	13		169	(株)北都組	北都白山
15	175～186	12	河北組合 182～195	185	(株)麴香重機建設	Jako
16	187～198	12		191	中本建設(株)	ワンワンチーム
17	199～211	13	羽咋協会 196～253	210	(株)稲岡	稲岡B
18	212～223	12		214	小倉建設(株)	OGURAAチーム
19	224～235	12		224	志賀興行建設(株)	A
20	236～248	13		240	西村建設(株)	にしむらファイトマン3
21	249～260	12		255	石丸工業(株)	イシマルC
22	261～272	12	七尾協会 254～305	272	(株)杉本工務店	A
23	273～285	13		277	(株)田村工業	タムラA
24	286～297	12		286	ナナオ土建(株)	ポトラーズNo.1
25	298～309	12		305	(一社)七尾鹿島建設業協会	七鹿協会
26	310～322	13	鳳輪協会 306～335	312	(株)新出組	LOVE 松潤
27	323～334	12		331	(有)森忠建設	(有)森忠建設
28	335～347	13		347	三和建設(株)	サンワ gooddrivers! チームA
29	348～359	12	珠洲協会 336～370	349	(株)大樹工建	たいちゃんチーム
30	360～372	13		362	(株)のとさく	のとさく H29D組

建設青年委員会

北陸建設青年委員会役員会並びに北陸地方整備局企画部との意見交換会の開催

北陸建設青年会議(会長 大嶋正寛(新潟))は、3月13日(火)午後2時30分から新潟県建設業協会にて、役員会並びに北陸地方整備局企画部との意見交換会を開催した。

役員会では大嶋会長挨拶の後、事務局より平成29年度事業報告並びに第23回全国建設青年会議等について説明が行われた。

その後、行われた意見交換会では株式会社親和組(新潟)より海外進出の事例発表が行われ、その後「働き方改革の推進に向けた建設現場の環境改善について」並びに「現場の担当者が会社と発注者(事務所等)の間で心労をためない工夫」の両テーマで活発な意見交換が行われた。



土木部監理課との意見交換会の開催

建設青年委員会(委員長 北川隆明)は、3月28日(水)午後4時からANA・ホリディ・イン金沢スカイにて委員25名出席のもと石川県土木部との意見交換会を開催した。

石川県土木部からは山岸部長、浅田技術管理室長、念介課長補佐のご参加を頂いた。

北川委員長挨拶の後、「石川県における最近の動向について」の演題で山岸部長よりご講演を頂き、その後意見交換会を行った。

委員からは、建設現場における週休2日制についての取組やICT施工に関する質問等があり、活発な意見交換が行われた。



環境・情報対策特別委員会

建設廃棄物の適正処理に係る講習会の開催

環境・情報対策特別委員会(委員長 長坂知通)は、3月16日(金)に「建設廃棄物の適正処理に係る講習会」を会員企業及び建設産業連合会会員の技術者114名の参加で石川県建設総合センター7階ホールで開催した。

建設マニフェスト販売センター総務部長 戸田伊作氏の挨拶のあと、大成建設の佐久間裕子氏から「環境関連法体系と建設廃棄物及び排出事業者責任について」と題し環境関連法体系と建設廃棄物について、及び排出事業者責任について、清水建設の石井良和氏から「建設リサイクル法及び廃棄物の委託処理について」と題し、リサイクル法の内容及び産業廃棄物を他人に委託する場合の注意点について、戸田部長より「マニフェストA票の記入演習」及び「マニフェストによる管理について」と題し、マニフェストの交付義務、流れ、記入方法等について説明を受けた。

午後4時30分までの長丁場の研修であったが参加者は最後まで熱心に受講していた。



雇用対策特別委員会

委員会の開催

雇用対策特別委員会(委員長 岡 昌弘)は、3月16日(金)午前10時30分より石川県建設総合センター4階401会議室において、委員26名、工業系学校関係者8名の出席にて平成29年度第2回目の委員会を開催した。

冒頭、岡委員長が働き方改革と生産性向上が建設業界の現下の大きなテーマとなっており、皆様方には建設業界のさらなるイメージアップと魅力ある職場づくりの推進にご協力をお願いしますと開会の挨拶をした。

続いて、石川労働局職業安定課越野桂一課長より石川県における最近の雇用失業情報等の行政連絡、石川県土木部監理課念介重俊課長補佐より本年度の石川県土木部主催による建設業における担い手確保についての取り組み事例の紹介や今後の支援の在り方についての報告を受けた後、会議の議題である「平成29年度事業報告」についての説明を事務局より行った。



引き続き、行政関係・学校関係者との意見交換が行われ、今後の事業の進め方・改善点などが話し合われ、閉会となった。

暴力団等対策特別委員会

委員会の開催

暴力団等対策特別委員会（委員長代行 小倉 淳）は、3月22日（木）石川県建設総合センター401会議室において委員会を開催した。

冒頭小倉 淳委員長代行が挨拶の後、事務局より平成29年度の委員会の活動状況の報告がなされ、引き続き来賓としてお招きした県警察本部組織犯罪対策課表 豊課長補佐及び県暴力追放運動推進センター田中茂義次長より「暴力団離脱者の社会復帰」と題し暴力団離脱者の現状と協会への協力要請が行われた。

今回協力要請がなされた暴力団離脱者の社会復帰については、これまで平成5年結成の関係行政機関及び当協会会員企業等も参加する県内22の支援事業者で構成する「暴力団社会復帰支援連絡会」により行われてきたものであるが、本連絡会は、結成より相当年が経過していることから、自らが支援協力事業者であることの認識を欠く事業所も出てきていることから、今般新たに該当事業所訪問を行い協力要請の確認を行う旨の説明がなされた。

委員会はその後暴力問題に関する質疑応答等が行われ閉会した。



石川県土木施工管理技士会だより

北陸三県土木施工管理技士会と北陸地方整備局との意見交換会の開催

石川、富山、新潟の北陸三県の土木施工管理技士会と北陸地方整備局との意見交換会が、去る3月8日（木）にアートホテル新潟駅前で開催された。北陸地方整備局の出席者は、小俣 篤局長、渡辺 学企画部長のほか、幹部5名。技士会側は、全国技士会の谷口博昭会長、小林正典専務理事、三県技士会会長、副会長及び事務局が出席した。

会議では小俣局長、猪俣新潟県技士会会長、谷口会長の順に挨拶が行われ、その後、小林専務理事より、全国技士会の活動報告、並びに平成29年12月に行われた全国技士会と国土交通省との意見交換会についての説明がなされた。内容については、技術者の技術力の向上、技術者制度の改正、働き方改革の推進などを要望したとのことであった。

次に、三県技士会の提出議題について各県の技士会会長が説明を行い、意見交換を行った。提出議題については、石川県土木施工管理技士会より「1級土木施工管理技士の受験資格要件の更なる緩和、試験問題の変更」富山県土木施工管理技士会から、「監理技術者等の一時交代について」新潟県土木施工管理技士会から、「監理技術者等の工事現場における専任について、1級土木施工管理技術検定試験の受験資格の見直しについて」議論された。各議題で活発な意見交換を行い、散会した。



JCM セミナー（DVD 講習会）の開催

石川県土木施工管理技士会（会長 江口介一）は、3月16日（金）に（一社）七尾鹿島建設業協会の会場においてJCM セミナー（DVD 講習会）を開催した。

この講習会は、DVDによる2つの講義（仮設構造物の設計と施工（土留め工） 工事の品質と生産性向上のための手引き）を受講することにより、CPDSが6ユニット付与される。

今回は25名の参加があり、今年度最後のセミナーとあって、出席者は熱心に講義を受講していた。



業 界 時 報

平成30年4月 人事異動（関係分抜粋）

（ ）は前任地

国土交通省

北陸地方整備局

職 名	氏 名	前任地職名
総務部長	藤原 啓志	(国土政策局 総合計画課 国土管理企画課長)
営繕部長	山田 稔	(警視庁 総務部 理事官)
主任監査官	近藤 秀児	(適正業務管理官)
入札契約監査官	河村 優	(信濃川河川事務所 副所長)
広報広聴対策官	久保田 肇	(富山河川国道事務所 副所長)
適正業務管理官	早矢仕一成	(総務部 契約課長)
地方事業評価管理官	小山 浩徳	(道路部 道路調査官)
総括防災調整官	関 敏文	(河川部 地域河川調整官)
企画部 企画調査官	安井 辰弥	(河川部 河川調査官)
企画部 技術企画官	高橋 亨	(港湾空港部 港湾空港整備・補償課長)
企画部 環境調整官	帆苅 晃也	(三国川ダム管理所長)
企画部 技術調整管理官	村下 剛	(高田河川国道事務所長)
企画部 技術開発調整官	山本 悟	(飯豊山系砂防事務所長)
企画部 総括技術検査官	武藤 和明	(羽越河川国道事務所 副所長)
企画部 緊急災害対策調整官	稲本 義昌	(長岡国道事務所 副所長)
企画部 企画課長	永野 正千	(企画部 企画課長補佐)
企画部 広域計画課長	笹岡 和幸	(新潟国道事務所 副所長)
企画部 施工企画課長	本間 政幸	(北陸技術事務所 副所長)
企画部 情報通信技術課長	小越 範夫	(北陸技術事務所 総括技術情報管理官)
建政部 都市調整官	田中 正克	(道路局 総務課長補佐)
建政部 建設業適正契約推進官	小柳 力夫	(用地部 用地計画官)
河川部 河川調査官	森下 淳	(湯沢砂防事務所長)

不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20

中屋三井ビル2F

河川部 水政調整官	押味 昭裕	(高田河川国道事務所 副所長)
河川部 地域河川調整官	浅井 誠二	(企画部 緊急災害対策調整官)
河川部 河川情報管理官	石川 俊之	(阿賀野川河川事務所長)
河川部 広域水管理官	長谷川 賢市	(河川部 水災害予報センター長)
河川部 河川計画課長	志野 直紀	(信濃川河川事務所 調査課長)
河川部 河川管理課長	田村 利晶	(信濃川河川事務所 副所長)
河川部 水災害予報センター長	田邊 雄司	(千曲川河川事務所 副所長)
道路部 道路調査官	松平 信治	(羽越河川国道事務所長)
道路部 路政調整官	金井 貴幸	(飯豊山系砂防事務所 副所長)
道路部 地域道路調整官	吉田 英治	(道路部 道路工事課長)
道路部 道路情報管理官	土田 稔	(国営越後丘陵公園事務所長)
道路部 路政課長	村野 大輔	(道路局 総務課 総務係長)
道路部 地域道路課長	山岸 隆宏	(企画部 広域計画課長)
道路部 道路工事課長	杉 浩行	(道路部 道路管理課長)
道路部 道路管理課長	木村 祐二	(村上市 政策推進課 参事)
港湾空港部 広域港湾管理官	奥田 聡	(新潟港湾・空港整備事務所 海岸課長)
港湾空港部 工事安全推進官	丸山 雄司	(金沢港湾・空港整備事務所 副所長)
港湾空港部 土砂処分管理官	茨木 則夫	(輪島市 建設部長)
港湾空港部 港湾管理課長	深澤 順麿	(港湾空港部 土砂処分管理官)
港湾空港部 港湾計画課長	古池 清一	(港湾空港部 広域港湾管理官)
港湾空港部 港湾空港整備・補償課長	高橋 伸一	(港湾空港部 品質確保室長)
港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室長	武田 均	(伏木富山港湾事務所 副所長)
港湾空港部 品質確保室長	阿部 武	(港湾空港部 港湾計画課長)
営繕部 整備課長	薄田 球一	(近畿地方整備局 建政部 住宅整備課長補佐)
金沢河川国道事務所 事務所長	山田 哲也	(愛知県 建設部 道路監)
副所長(事務)	北村 高宏	(総務部 人事課長補佐)
副所長(河川)	大角 一浩	(河川部 河川計画課長補佐)
副所長(道路)	安達 志郎	(長岡国道事務所 副所長)
契約事務管理官	金子 仁	(河川部 水政課長補佐)
工事品質管理官	古山 利也	(金沢河川国道事務所 総括地域防災調整官)
事業対策官	杉本 敦	(道路部 道路計画課長補佐)
総括地域防災調整官	小松 博美	(企画部 情報通信技術課長補佐)
地域防災調整官	姫野 利宗	(富山河川国道事務所 地域防災調整官)
保全対策官	辻 正也	(金沢河川国道事務所 建設専門官)
建設専門官(新設)	畠中 拓治	(金沢河川国道事務所 建設専門官)
建設専門官	高畠 勝志	(富山河川国道事務所 保全対策官)
建設専門官	松田 俊弥	(利賀ダム工事事務所 用地官)
経理課長	今野 慎也	(羽越河川国道事務所 総務課 専門官)
用地第一課長	中濱 朋巳	(長岡国道事務所 用地第一課長)
用地第二課長	北村 豊	(金沢河川国道事務所 用地第一課長)
工務第二課長	坂本 誠一	(企画部 技術検査官)
道路管理第一課長	丸山 淳	(高田河川国道事務所 保全対策官)
調査第二課長	川原 克美	(富山河川国道事務所 能越国道維持出張所長)
海岸課長	桶川 勝功	(黒部河川事務所 建設専門官)
松任海岸出張所長	佐成 孝夫	(金沢河川国道事務所 尾口砂防出張所長)
尾口砂防出張所長	奥井 淳	(富山河川国道事務所 調査第一課 専門官)
手取川ダム管理支所長	九田 将茂	(利賀ダム工事事務所 建設監督官)
輪島国道出張所長	野村 賢一	(阿賀野川河川事務所 建設監督官)
能登国道維持出張所長	南谷 達也	(東北地方整備局 仙台河川国道事務所 建設監督官)

金沢国道維持出張所長	古林 尚子	(富山河川国道事務所 道路管理第二課 専門官)
金沢営繕事務所 事務所長	高柳 進	(関東地方整備局 長野営繕事務所長)
金沢港湾・空港整備事務所 副所長	関口 忠志	(港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室長)
補償調整官	古田 健二	(敦賀港湾事務所 品質管理課長)
沿岸防災対策官	桜井 裕	(港湾局 産業港湾課 クルーズ振興室 地域連携係長)
企画調整課長	清水 利浩	(港湾空港部 港湾計画課長補佐)

石川県

農林水産部 部長級		
農林水産部長	遠藤 知庸	(参事(農林担当))
次長級		
県央農林総合事務所長	梅田 清彰	(農林総合研究センター次長(企画調整担当) 兼農業試験場総合研究部長)
奥能登農林総合事務所長	稲葉 清弘	(農林総合研究センター農業試験場副場長 兼砂丘地農業研究センター所長)
課長級		
南加賀農林総合事務所長	米田 保宏	(農林水産部森林管理課担当課長(森林政策担当))
担当課長級		
農林水産部農業政策課技術管理室担当課長	三浦 正幸	(中能登農林総合事務所土地改良部長)
農林水産部農業基盤課担当課長(事業監理担当)兼土木部都市計画課生活排水対策室次長	家元 雅夫	(農林水産部農業基盤課参事(企画調整GL))
石川農林総合事務所土地改良部長	川崎 智之	(農林水産部農業基盤課参事(農地整備GL))
中能登農林総合事務所土地改良部長	松村 武志	(農林水産部農業基盤課担当課長(事業監理担当) 兼土木部都市計画課生活排水対策室次長)
中能登農林総合事務所羽咋農林事務所長	鶴見 正樹	(石川農林総合事務所土地改良部長)
土木部 部長級		
土木部長兼送水管耐震化推進室長	板屋 英治	(参事・プロジェクト・港湾機能強化担当 兼参事・港湾活用推進担当)
参事・営繕担当・再任用・更新兼県民文化スポーツ部新図書館整備推進室次長	畝本 秀一	(土木部付・再任用)
県央土木総合事務所長併任送水管耐震化推進室次長	鈴木 穰	(南加賀土木総合事務所長 併任送水管耐震化推進室次長)
南加賀土木総合事務所併任送水管耐震化推進室次長	山崎 章	(奥能登土木総合事務所長)
県央土木総合事務所次長・昇任	為重 誠	(県央土木総合事務所次長 併任送水管耐震化推進室課長)
県央土木総合事務所次長併任送水管耐震化推進室課長	竹田 博司	(土木部水道企業課長 兼送水管耐震化推進室課長)
奥能登土木総合事務所長	森 裕人	(県央土木総合事務所次長)

次長級

土木部次長兼土木部企画調整室長兼危機監理官室次長

脇田 明義

(教育委員会事務局教育次長
兼教育委員会企画調整室長
兼人権教育推進室長兼世界遺産推進室長
兼日本スカウトジャンボリー開催支援室長)土木部次長・土木、まちづくり技術センター担当兼景観形成推進室長兼危機管理官室次長
兼送水管耐震化推進室次長兼危機管理監室次長兼生活環境部次長

畠山 邦夫

(土木部次長兼道路建設課長
併任送水管耐震化推進室課長)

土木部次長・建築・営繕担当

竹内 正人

(土木部次長兼営繕課長
兼危機管理監室危機対策課担当課長
兼商工労働部港湾活用推進室次長)

土木部次長兼公園緑地課長

浜田 哲郎

(金沢城・兼六園管理事務所長)

土木部次長兼砂防課長兼危機管理監室危機対策課担当課長

藤本 康司

(土木部砂防課長
兼危機管理監室危機対策課担当課長)

土木部参与・公園担当・再任用・更新

丸山 隆史

(土木部付・再任用)

課長級

土木部監理課長

柚森 直弘

(健康福祉部厚生政策課長
兼少子化対策監室担当課長
兼地域医療推進室次長
兼商工労働部人材確保・定住推進政策室課長)

土木部監理課技術管理室長

宮田 政桂

(南加賀土木総合事務所次長
併任送水管耐震化推進室担当課長)

土木部道路建設課長併任送水管耐震化推進室課長

二塚 保之

(土木部都市計画課長兼景観形成推進室次長
兼企画振興部企画課担当課長
兼農林水産部里山振興室次長)

土木部道路整備課長兼危機管理監室危機対策課担当課長

中村 博昭

(土木部道路建設課長担当課長・広域道路計画担当)

土木部都市計画課長兼景観形成推進室次長兼企画振興部企画課担当課長兼農林水産部里山振興室次長

鈴見 裕司

(土木部道路整備課長
兼危機管理監室危機対策課担当課長)

土木部都市計画課生活排水対策室次長兼生活環境部環境政策課担当課長

塩谷 建一

(土木部都市計画課担当課長)

土木部建築住宅課長

三谷浩二郎

(土木部建築住宅課参事・建築企画調整担当
兼生活環境部温暖化・里山対策室課参事)

土木部営繕課長兼危機管理監室危機対策課担当課長兼商工労働部港湾活用推進室次長

熊田 康也

(土木部建築住宅課長)

土木部水道企業課長兼送水管耐震化推進室課長

細沼 宏之

(南加賀土木総合事務所大聖寺土木事務所長)

南加賀土木総合事務所大聖寺土木事務所長

浅田 耕司

(土木部監理課技術管理室長)

県央土木総合事務所次長

西本 光弘

(奥能登総合事務所空港管理部長
兼能登空港管理事務所長)

県央土木総合事務所津幡土木事務所長

浅井 豊弘

(土木部都市計画課生活排水対策室次長
兼生活環境部環境政策課担当課長)

中能登土木総合事務所次長

吉本 一也

(奥能登土木総合事務所珠洲土木事務所長)

奥能登土木総合事務所珠洲土木事務所長

今井 洋

(県央土木総合事務所津幡土木事務所長)

金沢城・兼六園管理事務所長

藤村 秀人

(土木部公園緑地課担当課長)

労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（平成30年分）

平成30年2月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	1	(1) 2	3	(1) 6	3	109
小松監督署	2	1		3	2	58
七尾監督署		1		1	2	16
穴水監督署					1	6
計	3	(1) 4	3	(1) 10	8	189
前年同期	2	(1) 4	2	(1) 8	8	119

()内は木建工事 内は死亡者数

平成29年度 建設工事受注高調（元請）

民 間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%
12月分	124	404	30.7%	1,695	2,797	60.6%	1,819	3,201	56.8%
1月分	102	384	26.6%	952	1,145	83.1%	1,054	1,529	68.9%
2月分	56	385	14.5%	1,678	941	178.3%	1,734	1,326	130.8%
年度累計	3,535	4,612	76.6%	26,270	21,470	122.4%	29,805	26,082	114.3%
27年度累計		2,947	120.0%		26,900	97.7%		29,847	99.9%
26年度累計		3,689	95.8%		20,176	130.2%		23,865	124.9%

官 公 庁

	土 木			建 築			計		
	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%
12月分	2,348	2,577	91.1%	3,245	414	783.8%	5,593	2,991	187.0%
1月分	1,965	3,325	59.1%	750	191	392.7%	2,715	3,516	77.2%
2月分	2,591	5,485	47.2%	945	591	159.9%	3,536	6,076	58.2%
年度累計	34,235	46,734	73.3%	18,583	11,551	160.9%	52,818	58,285	90.6%
27年度累計		36,994	92.5%		13,518	137.5%		50,512	104.6%
26年度累計		43,723	78.3%		18,432	100.8%		62,155	85.0%

合 計（民間+官公庁）

	29年度	28年度	%
12月分	7,412	6,192	119.7%
1月分	3,769	5,045	74.7%
2月分	5,270	7,402	71.2%

	29年度	28年度	%
年度累計	82,623	84,367	97.9%
27年度累計		80,359	102.8%
26年度累計		86,020	96.1%

会員消息

今月は届出はありませんでした。なお、変更等があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

平成30年4月行事予定

- 4月 3日(火) 正副会長会議
常任理事会
- 5日(木) 平成30年度建設業経理検定等実施計画説明会
(東京 建設業振興基金)
- 9日(月) 北陸三県建設業協会専務・事務局長会議
(小松市)
- 10日(火) 新入社員研修開講式
- 11日(水) 石川県土木施工管理技士会正副会長会議
暴力追放監視員研修会 (石川県警本部)
- 13日(金) 会報編集委員会
金沢港コンテナ上屋工事安全祈願祭・起工式
(金沢港 東部工業用地)
金沢港ガントリークレーン二号機完成式
(金沢港 東部工業用地)
- 16日(月) 広報・研修委員会 企画部会
金沢協会 監査
- 19日(木) 金沢協会理事会
- 23日(月) 東日本建設業保証 取締役会(東京 本社ビル)
- 25日(水) 全建 理事会
- 26日(木) 手取川・梯川総合水防演習運営委員会水防部会
(川北町文化センター)
- 27日(金) 事務局打合せ

- 30日(水) 全建 理事会(13:20)表彰式・総会(14:30)
(東京 経団連会館)
全建 70周年記念パーティー
(東京 経団連会館)
全国技士会連合会定時総会・表彰式
(東京 アルカディア市ヶ谷)
- 6月 4日(月) 石建産連正副会長会議
協会 正副会長会議
協会 常任理事会
- 7日(木) 広報・研修委員会 視察(～9日) (熊本)
- 13日(水) 石建産連理事会・総会
- 14日(木) 北陸地方整備局との意見交換会
(ホテル日航金沢)
- 25日(月) 東日本建設業保証 株主総会・取締役会
(東京 本社ビル)
全国建設産業団体連合会 総会
- 26日(火) 全建協連 専務・事務局長会議
(東京 東海大学校友会館)
- 10月16日(火) 北陸建設業協会地域懇談会 (ホテル日航金沢)
- 一級土木受験準備講習会(学科)
5月10日(木)、17日(木)、23日(水)、6月1日(金)、7日(木)
(石川県建設総合センター)

平成30年5月以降の行事予定

- 5月 7日(月) 正副会長会議
- 8日(火) 協会監査・組合監査(13:30)
- 14日(月) 理事会 建災防(10:30)・組合(11:30)・
協会(12:30)
- 15日(火) ICT関係講習会
青年委員会 (加賀市)
- 16日(水) 全建協連 総会 (東京 東海大学校友会館)
ICT連絡デモセンター粟津開所式
- 25日(金) 総会 建災防(11:00)・組合(13:00)・
協会(14:00)
- 26日(土) 手取川・梯川総合水防演習
(能美郡川北町(辰口橋下流左岸河川敷))

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
協会報の発行 毎月1日発行
(毎月10日前後納入、会員送付)
謝礼 投稿頂いた記事について薄謝(図書券)
贈呈

(注) お問い合わせは、
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当
TEL 076-242-1161(代)内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 4月 3日(火) 土木：正副部会長会議
土木：役員会
- 6日(金) 建築：役員会
- 9日(月) まちなか協働パトロール出発式

- 13日(金) テレビ講座
- 19日(木) 常任理事会
理事会
- 24日(火) 平成30年度第1回技術社員研修会

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

4月12日(木) 協会・組合 会計監査
18日(水) 4月 役員会

《お知らせ》

5月 9日(水) 協会・組合 定時総会
23日(水) 献血奉仕活動

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

4月11日(水) 執行部会
26日(木) 理事会

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

4月 3日(火) 監理技術者講習会
17日(火) 会計監査
26日(木) 理事会

《お知らせ》

5月16日(水) 定時総会

河北郡市土協同組合

《行事予定》

4月 4日(水) 平成29年度決算会計士指導
27日(金) 平成29年度会計監査

(一社)羽咋都市建設業協会

《行事予定》

4月25日(水) 監事会
26日(木) 理事会

《お知らせ》

5月22日(火) 定時総会

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

4月 4日(水) 監理技術者講習会
11日(水) 新年度挨拶回り

《お知らせ》

5月11日(金) 理事会
18日(金) 通常総会
6月20日(水) 研修視察(～22日)

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

4月11日(水) 監事会(会計監査)
20日(金) 正副会長会議、理事会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

4月 9日(月) 石川県立能登産業技術専門学校
前期入校式
20日(金) 会計監査
26日(木) 理事会
下旬 安全対策協議会 工事点検パトロール

平成30年 ～交通マナーアップいしかわ～

春の全国交通安全運動

期間:4月6日(金)～4月15日(日)

4月10日(火) は「交通事故死ゼロを目指す日」

運動の重点

- ◆ 子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- ◆ 自転車の安全利用の推進
- ◆ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ◆ 飲酒運転の根絶